

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性		中越地区協会 委員会 連盟
<p>1. 現状の把握</p> <p>①人口減による自然現象の登録数減少はあるが、他地区に比べても大きな減少はない。 今後もサッカーを辞めてしまう選手を把握して必要なサポートをしていきたい。</p> <p>②現在も継続して各種別大会を行っている。この大会を続けていくことによって世代間の連携を保つ。</p> <p>③環境整備においても、サポート可能な事は進めていく。</p> <p>④サッカーファミリーの増員については、可能な施策を考えていきたい。</p> <p>これまでの中期目標であった2022年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>		

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の 頁
2. 中期目標(2030年)		中越地区協会 委員会 連盟
<p>中期目標のFリーグ参入チームのサポート。 表立った活動は見れませんが、関係各所と連携を取っていきたい。</p>		

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の 頁
3. 長期目標(2050年)		中越地区協会 委員会 連盟
<p>中期目標が軌道に乗れば、自ずと達成される事となるはず。 中期目標実現に向けて尽力したい。</p>		

NFAアクションプラン2022→2026					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					中越地区協会 委員会 連盟
No. と 事項	2026年具体的目標	2022年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1-1	サッカーファミリーの確保 環境整備 年代間の連携	年々減少 地区により未整備 カテゴリー毎により違う	20 30 25	人口減の歯止め 資金調達の難易度 指導者の交流	魅力あるサッカーをする地域づくり 補助金制度の活用 異種間の指導者交流の場
1-2	フリーグ参入チームのサポート	なし	0		施策検討中
1-3	フリーグ参入・フリーガー輩出 指導者審判員の育成	日本代表のフットサル選手は長岡市を中心に複数名選出されている。 中越地区内出身で国際審判に選出された審判員を輩出。	60 75	更なる競技力向上 更なる競技力向上	多種多様なサポートの創造 多種多様なサポートの創造
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

委員会  
連盟  
中越地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
	2種	通年	現場	選手の情報	交換し合う
	3種	通年	現場	選手の情報	交換し合う
	3種 4種	とうりんぼカップ	ぴあパーク	サッカー大会	継続しておこなう
	事務局	通年	需要のある地区	施設建設	情報を得る
	地域の協会	通年	需要のある地区	施設建設	情報を得る
	全カテゴリー	通年	サッカーをるところ	人口拡大	推進する
	キッズ	通年	中越地内	サッカーを知らない子供	導入する
	指導者	通年	中越地内	キッズを教える人材	育成する

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です